

平成29年10月入学

岡山大学
大学院自然科学研究科
地球惑星物質科学専攻

(5年一貫制博士課程)

学 生 募 集 要 項

**Graduate School of Natural Science and Technology
(Five-year Doctor's Course)**

OKAYAMA UNIVERSITY

目 次

設置の目的及び概要	1
アドミッション・ポリシー	2
I 募集人員	3
II 入学者選抜試験 学生募集要項	3
III 専攻案内	11

添付書類（出願書類等）

入学願書・履歴書・受験票

受験票送付用封筒

連絡受信先シール

入学検定料振込用紙

履歴書（出願書類②）

研究従事内容証明書（出願資格審査書類③・出願書類②）

出願資格認定申請・調書（出願資格審査書類①）

業績調書（出願資格審査書類②）

志望理由書（出願資格審査書類⑥）

地球惑星物質科学専攻（5年一貫制博士課程）の目的及び概要

目的

太陽系形成から現在に至る「地球・惑星の起源，物質進化，ダイナミクス」を実証的な物質科学として解き明かすことは地球惑星科学の根源的な課題であり，人類共通の知識として体系化することが研究者の目標です。本専攻においては，この課題を解明するための高い研究遂行能力と教育能力を併せ持ち，地球惑星物質科学を国際的に先導できる優秀な若手研究者の養成を目的としています。そのため本専攻では，従来の日本型大学院と異なる教育環境を設置し，研究者を志向する大学院生の育成に努めています。

概要

本専攻では，修士課程を廃し，入学当初より連続した5年間を基準修了年限とした博士課程教育を実施しています。このため，本専攻に入学した大学院生は，博士学位取得という明確な目標を持って，大学院教育を受けることとなります。優れた能力を有すると判断された場合は，博士学位取得必要最低年限である学部卒業後3年目での博士学位取得が可能です（修士課程修了者は最短1年）。他研究分野出身の大学院生に対しても，5年間という十分な時間を活用することにより，地球物質科学に関する体系的な教育を受けることができます。本専攻に所属する大学院生は独自の奨学金やリサーチアシスタントシップにより，授業料および生活費に関わる補助を最長5年間受けることができます。これは，大学院生に対して，学業に専念できる環境を提供するとともに，研究者としての責任の自覚を促すことでもあります。

本専攻を修了し博士の学位を取得するには，所定の単位修得のほか，入学後2年半までに実施される「博士論文申請審査試験(Proposal Defense)」，および学位取得の際の「学位審査試験(Final Defense)」に合格しなければなりません。「Proposal Defense」に不合格であった大学院生に対しては，奨学金等の補助を停止するとともに退学を勧告します。これらの審査試験においては，本専攻所属教員に加えて第一線の外国人研究者を交えた審査システムのもと実施され，国際的レベルに準じて行われます。

本専攻では，多彩な国籍からなる大学院生が，研究上の共通言語である英語を用いた講義・研究指導を受け，さらに国際性豊かな教員・研究者と議論を交わすことが可能な教育研究環境が提供されています。また，本専攻が設置されている「岡山大学惑星物質研究所」は，文部科学省の地球惑星物質科学研究における「共同利用・共同研究拠点」に認定されており，常時国内外の研究者との共同研究を実施しています。本専攻の大学院生はこのような環境で第一線の研究者の指導のもと博士課程研究を行い，実践的な研究コミュニケーション能力と高い専門的能力を育んでいきます。また英語に堪能な事務職員を配置することにより，留学生の教務事務などの諸手続きに関する負担を軽減します。

以上の実質的かつ国際的な教育研究環境を提供することにより，本専攻は国際的に活躍できる自立した研究者の育成に取り組み，学問の発展，人類知の構築に貢献したいと考えています。

地球惑星物質科学専攻（5年一貫制博士課程）のアドミッション・ポリシー

5年一貫制博士課程においては、太陽系形成から現在に至る「地球・惑星の起源、物質進化、ダイナミクス」を実証的な物質科学として解き明かし、人類共通の知識として体系化できる研究者の育成を目指しています。地球を含む太陽系惑星の物質科学に高い関心を持ち、将来国際的に活躍できる研究者を目指して自己研鑽のできる、意欲ある人を国内外に広く募集、潜在的な基礎研究能力をもとに選抜して受入れます。

I 募集人員

平成29年10月入学

専攻名	募集人員
地球惑星物質科学専攻	若干人

II 入学者選抜試験 学生募集要項

1. 出願資格

出願にあたっては平成29年9月までに次のいずれかに該当する必要があります。

- (1) 学校教育法に規定される大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（注1）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第169号参照）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって（5）号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（注3）
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（注4）
- (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5）
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5、6）
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得し

たと認めるもの（注5）

- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5）

(注1) 1の「出願資格」(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書を提出できる者。
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者。

(注2) 1の「出願資格」(3)に該当する「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」とは、外国において正規の学校教育における16年の課程を修了した者です。

なお、大学卒業までに16年を要する国で修学した者が、飛び級している場合は、16年目の課程を修了していれば、22歳未満であっても上記に該当します。

(注3) 1の「出願資格」(9)に該当する「学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの」とは、他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で、「4出願手続(5)出願に必要な書類等」に記載の「⑭他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。

(注4) 1の「出願資格」(10)に該当する「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査（筆記試験、口頭試問）及び面接を行い、出願資格を認めた者です。

ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は免除することがあります。

(注5) 1の「出願資格」(11)～(14)に該当する「大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」については、別に定めます。

(注6) 1の「出願資格」(12)に該当する「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」とは、大学卒業までに15年を要する国において、飛び級し、大学教育を修了した者も含まれます。

2. 出願資格審査

前記1の「出願資格」(10)～(14)における入学志願者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、次の書類を、下記の受付期間内に岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当へ提出してください。

出願資格審査書類受付期間

平成29年10月入学者選抜試験（第1回試験）	平成29年4月27日（木） ～ 平成29年5月8日（月）
------------------------	------------------------------------

出願資格審査提出書類

① 出願資格認定申請・調書（注1）	本研究科所定の様式【資格審査用（1）】を使用してください。
② 業績調書（注1）	本研究科所定の様式【資格審査用（2）】を使用してください。（専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。）なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
③ 研究従事内容証明書（注1）	本研究科所定の様式【資格審査用（3）】を使用してください。（所属機関等が作成したもの）
④ 成績証明書（最終学歴）	最終出身学校長、学部長又は研究科長が作成したものを提出してください。
⑤ 卒業証明書又は修了証明書（最終学歴）	最終出身学校長、学部長又は研究科長が作成したものを提出してください。
⑥ 志望理由書（注1）	本研究科所定の様式【資格審査用（6）】を使用してください。
⑦ 資格免許証等（注2）	専攻分野に関連する各種免許証等があれば、参考になると思われる書類の写しを提出してください。（A4版にコピーして簡単な説明を付してください。）

（注1）①～③及び⑥の様式は、出願書類の終わりに添付してあります。

（注2）提出は必要な場合のみです。

3. 障がい等のある方の出願について

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	平成29年10月入学者選抜試験（第1回試験）	平成29年5月8日（月）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 （自然科学研究科・環境生命科学研究所共通事務室） 電話（086）251-8576	

4. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、(2)の「出願期間」の受付時間（8時30分から17時15分まで）内に提出してください。

入学志願者は、出願前に指導予定教員と連絡をとり、研究内容等について必ず相談してください。

有機地球惑星科学講座での指導を希望する場合は、事前に、分析地球惑星化学講座の教員に連絡を取るようしてください。

(2) 出願期間

平成29年10月入学者選抜試験（第1回試験）	平成29年5月25日（木） ～ 平成29年6月7日（水）
------------------------	------------------------------------

郵送する場合は、「書留」にて、封筒の表に「岡山大学大学院自然科学研究科地球惑星物質科学専攻入学願書在中」と朱書し、上記の出願期間内に必着するように郵送してください。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

TEL：086-251-8576

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、入学願書の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 入学願書 履歴書 受験票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真	縦 4.0cm×横 3.0cm、出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影した写真2枚を「入学願書」「受験票」の所定欄にのりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に氏名を記入してください。

<p>③ 入学検定料</p>	<p>30,000円(振込手数料が別に必要です。)</p> <p>入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を所定欄(受験票下欄)にのりで貼り付けてください。</p> <p>入学検定料の返還について</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>ウ 国費外国人留学生の入学志願者は原則として入学検定料の納入は不要ですが、平成29年9月30日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の納入が必要です。なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。</p>
<p>④ 推薦書</p>	<p>提出は任意ですが、指導予定教員と事前に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員又はそれに準ずる者2人がそれぞれ作成したもの。 ・合計本紙2通とします。(様式任意) <p>例 A指導教員の推薦書1通(本紙) B指導教員の推薦書1通(本紙) 計2通</p> <p>※ A指導教員とB指導教員の連名とした推薦書2通(本紙)ではないので、注意してください。</p>
<p>⑤ 学部の成績証明書(注)</p>	<p>出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑥ 大学院の成績証明書(注)</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ出身大学の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑦ 卒業証明書 又は 卒業見込証明書(注)</p>	<p>出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑧ 修了証明書 又は 修了見込証明書(注)</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑨ 学位論文等</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ、次のいずれかを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修士論文を持つ修士学位取得者は、「学位論文要旨(A4版で様式は指定しません。2,000字程度)」 ・修士課程修了見込みの者、修士論文を持たない修士学位取得者は、「研究経過報告書(A4版で様式は指定しません。2,000字程度)」 <p>なお、研究発表等の資料があれば添付してください。</p>

⑩ 研究計画書	A4版で様式は指定しません。
⑪ 業績調書	A4版で様式は指定しません。
⑫ 履歴書及び研究従事内容証明書	「1 出願資格(3), (4)」に該当する者で出願する者のみ提出してください。本研究科所定の用紙に必要事項を記載して提出してください。
⑬ 学士の学位授与(申請)証明書	「1 出願資格(2)」で出願する者のみ提出してください。 学位取得見込者は、在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書及び学士の学位の授与を申請する予定である旨在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成する証明書(様式任意)
⑭ 他研究科での在学期間証明書	「1. 出願資格(9)」で出願する者のみ提出してください。
⑮ 受験票送付用封筒	所定の封筒に、次の⑯連絡受信先シール(受験票送付用)及び362円分の切手を貼ってください。
⑯ 連絡受信先シール	必要事項を記入してください。

(注)出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、⑤～⑧の証明書の提出は不要です。
 本学の卒業者、修了者及び卒業見込み、修了見込みの入学志願者は、⑤～⑧の証明書の提出は不要です。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5. 受験票の交付

受験票は、下記頃に本人あて発送します。なお、試験日の3日前まで到着しない場合には、担当係(P.10)に連絡してください。

平成29年10月入学者選抜試験(第1回試験)	平成29年6月8日(木)頃
------------------------	---------------

6. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問及び書類審査の結果を総合して行います。

なお、成績証明書等に基づく書類審査により、口頭試問を免除する場合があります。口頭試問免除者への通知は、受験票送付の際に併せて行います。

平成29年10月入学者選抜試験（第1回目試験）

期日	試験区分	時間	試問場所
平成29年6月12日（月）	口頭試問	午前9時30分～	指導予定教員から後日連絡します。

- (注) 1. 前記の口頭試問の日時は、志願者に連絡の上、変更することがあります。
 2. 口頭試問の日時及び試問場所について6月9日（金）までに連絡のない場合は、担当係（P.10）へ問い合わせてください。

7. 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

入 学 者 選 抜 試 験	日 時	掲 示 場 所
平成29年10月入学者選抜試験 （第1回試験）	平成29年6月30日（金） 午前10時	岡山大学自然系研究科等 学務課大学院担当 （工学部1号館1階） 事務室前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を公表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
 (<http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/admission/index.html>)
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続方法

後日合格者に通知します。

(2) 入学手続期間

入学手続期間については、次のとおり予定していますが、詳細は、後日合格者に通知します。
 平成29年10月入学者：平成29年9月19日（火）～平成29年9月20日（水）

9 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円〔予定額〕

授業料（半年分）267,900円（年額）535,800円〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
 その他の費用として、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。

(2) 奨学金制度

本専攻では、優秀かつ経済的支援を必要としている大学院生に対して、惑星物質研究所独自の奨学金制度により、授業料、生活費について援助を行います。また、渡日費用の援助も可能となっています。

(3) 出願に際して不明の点があれば、下記担当係へ問い合わせてください。

【担当係】

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

TEL : 086-251-8576

お知らせ

次回の試験は、「平成29年10月入学者選抜試験（第2回試験）及び平成30年4月入学者選抜試験（第1回試験）」として実施する予定です。

III 専攻案内

講座	講座の内容	授業科目	担当教員
分析地球惑星 化学講座	天然試料・実験生成物の元素存在度・同位体比測定・年代測定・構造解析をもとに、地球・惑星の起源・進化を解明する。	基礎分析地球惑星化学	牧嶋 昭夫 教授
		安定同位体宇宙化学	森口 拓弥 准教授
		ケミカルジオダイナミクス	中村 栄三 教授
		地球惑星物質年代学	小林 桂 教授
		地球惑星起源物質化学	中村 栄三 教授 国広 卓也 准教授
		マントル地球化学	田中 亮吏 准教授
		地球惑星地質学	北川 宙 助教
		地球惑星物質進化解析学	国広 卓也 准教授
実験地球惑星 物理学講座	超高压高温実験による地球内部物質の物性測定、および分光・回折法による鉱物・マグマ・流体の構造解析と第一原理計算により、地球・惑星の進化とダイナミクスを解明する。	超高压基礎実験科学	芳野 極 准教授
		地球惑星物質の状態方程式	米田 明 准教授
		レオロジー	山崎 大輔 准教授
		放射光物質科学	神崎 正美 教授
		地球惑星物質分光法	薛 献宇 教授
		実験マグマ科学	山下 茂 准教授
		揮発性物質地球惑星化学	中村 栄三 教授 田中 亮吏 准教授
		ナノスケール鉱物学	イザワ マシュー 助教
		高压流体物質物性学	奥地 拓生 准教授
		高压地球惑星科学トピックス	ジェフコート アンドリュウ 教授
有機地球惑星 科学講座 (連携講座)	CHONS 系化学種の起源と物質進化の解析から、初期太陽系の物質進化、さらには生命の起源を解明する。	地球惑星有機物化学	中村 栄三 教授 牧嶋 昭夫 教授
		地球惑星有機物解析学	牧嶋 昭夫 教授
		メルト中の揮発性物質	中村 栄三 教授 森口 拓弥 准教授
		アストロバイオロジー	中村 栄三 教授 小林 桂 教授